



PRISMAprepare V9.0.1		
対応OS	Windows 10 64ビット版(Professional, または Enterprise)、Windows 11 ※Windows 10はバージョン1803(April 2018 Update)以降が必要です。32ビット版は対応していません。 ※最新のMicrosoft Windows Updateを適用してください。 ※.NET Framework v4.8以降がインストールできないWindows 10 / Windows 10 LTSBは使用できません。 ※Windows 10のサイドローディング設定を有効にする必要があります。バージョン2004以降は既定で有効ですが、それ以前のバージョンの場合、設定の変更が必要な場合があります。	
必須ソフトウェア	Microsoft .NET Framework V3.5およびV4.8 Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0 ※同梱のマニュアルPDFの閲覧にAdobe Acrobat Readerが必要です。 ※インストール時に以下同梱ソフトウェアをインストールします。また、その際インストーラーは再起動を実施します。 ※ Microsoft .NET Framework V3.5が既定で無効になっている場合は、設定が必要な場合があります。 Microsoft .NET Framework V4.8 / Microsoft Access Database Engine 2016 / Microsoft Visual C++ 2019 Redistributable Package ※ Microsoft .NET Framework V3.5が既定で無効になっている場合は、設定が必要な場合があります。	
CPU	必須	Intel Core i5 以上、または同等以上の互換MPU (AMD等)
	推奨	Intel Core i5 以上
メモリー	必須	2GB以上
	推奨	4GB以上
HDD	必須	80GB以上 (UDMA, SATAまたは SCSI U320) ※NFTSフォーマットで40GB以上の空き容量が必要。
	推奨	200GB以上 (SSDドライブ) ※NFTSフォーマットで40GB以上の空き容量が必要 ※スキャン画像処理やパフォーマンス向上のため、速度の速いSSDを推奨します。
光学ドライブ	必須	DVD-ROMドライブ
ネットワーク	必須	TCP/IP (IPv4 and IPv6): 100Mbps / 1Gbps ※VPN使用時などPCのルーティングテーブルが変わる環境の場合、ライセンス認証エラーが発生する場合がございます。その際はVPNをオフにして使用してください。
モニター	必須	サイズ: 19インチ以上 / 解像度: 1280×1024ピクセル以上、TrueColor (24/32ビット)
	推奨	サイズ: 24インチワイド以上 / 解像度: 1920×1200ピクセル以上、TrueColor (24/32ビット)
スキャナ	任意	TWAIN対応スキャナ (ネイティブ64ビット Windows対応ドライバのみ) 対応機種: DR-X10C、DR-G2140、DR-G2110 ※ネイティブ64ビット対応でないドライバや、64ビット版OSで動作する32ビット版ドライバは使用できません。 ※スキャナ付属のドライバを使用するため、スキャン性能はドライバの機能に依存します。
PDFファイル	PDFバージョン v1.1-v1.7 (読込、保存はv1.7のみ) ページ数上限: 2,000ページ (画像中心) ~ 3,200ページ (文字中心)、150ページ (スキャンファイル) ファイルサイズ上限: 2.9GB ページサイズ: 5.0mm-3000.0mm / 0.20inch-118.11inch以内 ※ページ数とファイルサイズの上限は目安です。使用環境、データにより異なります。 ※パスワード付きPDF、暗号化されたPDFは非対応。 ※ファイルを開く、変更、アセンブリ、印刷権限が必要 (権限が無い場合は動きません)	
インポート可能なMicrosoft Officeのバージョン	Microsoft Office 2016/2019/2021、Microsoft 365 ※ 64ビット版のみ、32ビット版は対応していません。 ※ 対応は各ソフトウェアのサポート期間に準じます。	
インポート可能なその他ファイル形式	JPEG/TIFF (マルチページTIFF)	
VDP機能	取込対応ファイル形式 テキストフレーム: XLSX, XLS, CSV, ACCDB, MDB ※パスワード付きファイルは非対応 ※対応フィールド形式: Unicode, 数字, 日時, ファイル名 画像フレーム: BMP, GIF, TIF, JPEG, PNG, EPN 最大レコード数: 10,000 (使用環境、データにより異なります) / 最大レコード数: 5,000 (カット&スタック使用時、使用環境、データにより異なります) 対応バーコードQRコード、PDF417, DataMatrix, Micro PDF417 ※各バーコードが定める形式に従ってファイルを作成してください。準拠していない場合、正しく表示しません。	
その他機能	プリフライト機能 (標準) / オートメーション機能 (標準)	

PRISMAprepare



※製品改良のため予告なく変更を行うことがあります。記載の内容は2025年5月現在のものです。●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●Microsoft、Windows、Windows 10、Windows Serverは米国Microsoft社の米国及びその他の国における登録商標です。Adobe Acrobat、Acrobat、Adobe PDF及びReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国及びその他の国における登録商標です。●本カタログに記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●一部画面は、ハメコミ画像です。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

Home Page

オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer

【発行元】

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

プロダクションシステム企画部

【開発】

Canon Production Printing Netherlands B.V.

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

2025年5月現在

高品位ドキュメントを直感的な操作で効率的に生成するプリプレス・ソフトウェア“PRISMAprepare”

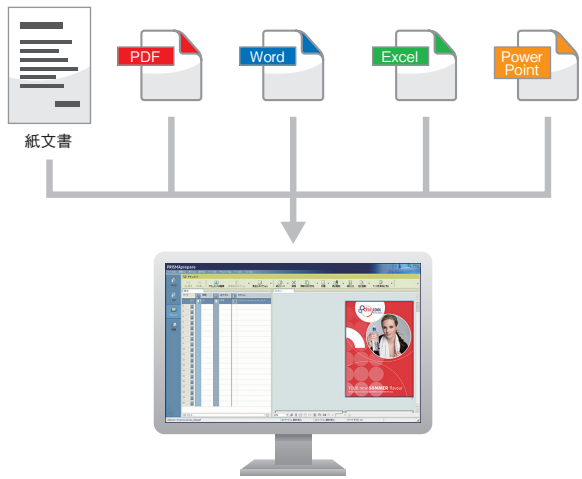
取り込みから編集・印刷・保存までのワークフローを簡単、かつ効率的に行うことができるプリプレス・ソフトウェア。

デジタル・紙原稿のメディアを問わず、取り込みや面付け、色調整や折り設定などの面倒な作業をすべてモニター上で直感的に操作し、プリプレスに必要な工程の効率化に貢献します。

取り込み

紙文書と電子ファイルの双方に対応

電子ファイルの取り込みはPDFとMicrosoft Office形式に対応。また、TWAIN対応のスキャナー経由で紙原稿の取り込みにも対応します。



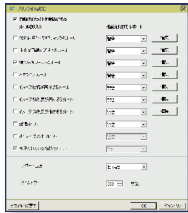
各種ファイルの取込

PDFに加え、Microsoft Office (Word、Excel、PowerPoint)とJPEG/TIFF*形式のファイル取込に対応。様々なファイル形式のデータをPRISMAprepareで一つのPDFファイルにまとめる事が出来ます。

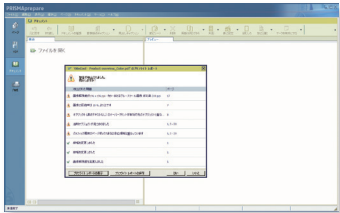
* バージョン 7.2.1.0以降で対応
※Microsoft Office 2016以降に対応
※Microsoft Office形式のファイル取込を行う際にはMicrosoft Officeが必要です。
※ドラッグ&ドロップによる取込は出来ません。
※PDFへの変換は、Microsoft Officeの機能を利用します。PDFへの変換が出来ない場合は、Adobe Acrobat Proの使用を推奨します。
※対応は各ソフトウェアのサポート期間に準じます。

PDF原稿のチェック機能搭載

プリフライト機能により、原稿チェック機能を搭載。ヘアラインやイメージ解像度・圧縮度など、予め設定したルールに合わないPDFの場合に警告を表示します。



プリフライト設定



PDF取込時に警告を表示

全ての機能を盛り込んだAll in Oneパッケージ

従来オプションだったオートメーション機能とプリフライト機能を新たに標準搭載しました。

※バージョン 7.1.0.0以降で対応

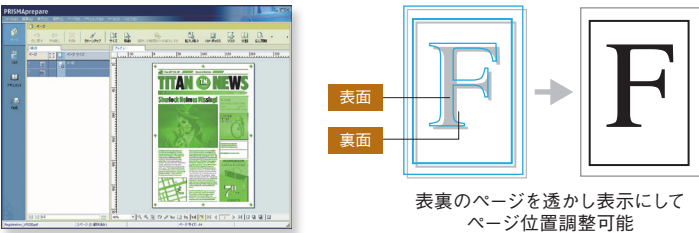
編集

多彩なページ選択パターンによる効率的な編集作業

A4文書とA3図面といった複数のサイズが混在している場合に「同じサイズのページ」や「同じメディアのページ」等の属性でページ選択が可能です。また、ページ番号を指定して選択することもできます。ページ数の多い文書の一部を効率的に編集したい時に便利な機能です。

ミラーリングとスケールによる高精度な位置合わせ

ミラーリング重ね表示により、表と裏のページを重ねて表示することが可能です。ミラーリング重ね表示をしながらページ位置の調整を行えますので、表裏の見当合わせ時に効率的かつより正確な位置調整ができます。また、スケールに位置合わせ時の基準となるガイドを追加可能です。



ヘッダー/フッター編集機能

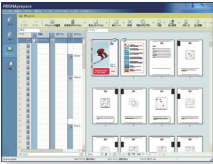
ヘッダー/フッターにファイル名やセクション名、日時、ページ番号の入力が可能です。

ドキュメントの編集

PDF内のテキスト修正と画像のコピー・切り貼り機能により、入稿した原稿を微修正したい場合に前工程に戻る事なく編集が可能です。 ※画像の拡大・縮小はできません。

サムネイル表示

複数のページを縮小して表示するサムネイル表示を搭載しました。一覧表示から作業したいページを探ることが出来るようになり、取扱説明書や教材などページ数の多い文書を編集する時の作業効率が向上します。



オートメーション機能

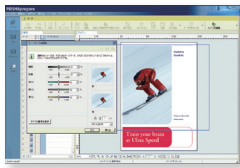
同じレイアウトが必要なドキュメントを設定する時は、予め設定したホットフォルダにPDFファイルを投入すると自動処理が可能です。設定は定義済み、もしくはPrepare上で作成したテンプレートに従って処理されます。取扱説明書など予め決められた体裁に従って大量のファイルを設定する場面で作業の効率化を実現します。

バリエアブルデータの出力

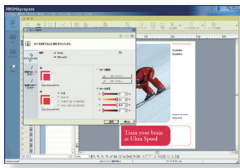
VDPワークスペースで可変データを含むドキュメントの印刷ができます。テキストや画像フレームに加え、バーコードフレームに対応します。バーコードフレームに対応します。 ※取込対応ファイル形式、画像フォーマット、使用できるバーコードの種類は動作環境をご覧ください。

カラー調整機能を搭載

イメージ編集機能で、ページ内のイメージの輝度や彩度、色調整が行えます。また、カラー編集機能でページ内のテキストやグラフィックの色変更が可能。DTPアプリケーションを使わずにスポットカラーへの変更などの最終調整を行うことができます。 ※スキャンしたページのカラー編集はできません。



イメージ編集機能



カラー編集機能

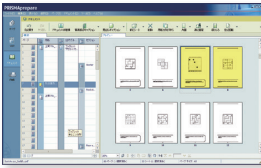
断ち切りタブの作成

断ち切りタブ(みみ)をプレビューで確認しながら簡単に作成できます。断ち切りタブは表面・裏面両方に作成可能です。タブに記入するテキストは、直接入力のほかにはセッション名やブックマーク、テキストファイルからのインポートが行えます。



統一されたメディア管理による効率的な出力

章ごとにカラーページのトビラを差し込む、表紙に厚紙設定を行う等の設定が可能です。設定されたメディア情報は、PDFファイル内に保存されますので再印刷を手間なく行えます。また、プリンターのメディア情報をインポートして統一されたメディア管理を行う事により、印刷フローの効率化に貢献します。 ※インポート可能なプリンターは対応プリンター一覧に記載の通りです。



スキャンデータの修正機能

プレビューを確認しながらスキャンデータのごみ取りや、傾き補正、指定範囲の消去が可能です。スキャンデータに残っているステイブル跡やパンチ穴を除去することができます。

PRISMAprepare V9.0 (9.0.1.0) 対応プリンター一覧

varioPRINT 6330 / 6270 / 6220 / 6180	varioPRINT 140/130/115
Océ VarioPrint 6320 Ultra+ / 6250 Ultra+ / 6200 Ultra+ / 6160 Ultra+	Océ VarioPrint 6330 / 6270 / 6220 / 6180
imagePRESS V1350 PRISMAsyncモデル *1	imagePRESS V1350 imagePRESS Serverモデル *1 *2 - imagePRESS Server E9000 v1.0
imagePRESS V1000 PRISMAsyncモデル *1	imagePRESS V1000 imagePRESS Serverモデル *1 *2 - imagePRESS Server D3000 v1.0
imagePRESS V900/V800 PRISMAsyncモデル *1	imagePRESS V900/V800 imagePRESS Serverモデル *1 *2 *3 - imagePRESS Server P500 v1.0, N400 v1.0 *4
imagePRESS C10010VP/C9010VP PRISMAsyncモデル *1	imagePRESS C910/C810 PRISMAsyncモデル *1
imagePRESS C10010VP/C9010VP imagePRESS Serverモデル *1 *2 - imagePRESS Server B7000 v2.0/v2.1, B6000 v2.0/v2.1	imagePRESS C910/C810 imagePRESS Serverモデル *1 *2 *3 *5 - imagePRESS Server H350 v2.0/v2.1, G250 v2.0/v2.1 *4

※varioPRINTおよびimagePRESS PRISMAsyncモデルは最新バージョンのPRISMAsyncでの使用を推奨します。 ※imagePRESS Serverは最新バージョンのFiery JDFの使用を推奨します。
※排紙オプションと設定の組み合わせによって意図通りに出力できない場合がございます。導入前の確認を推奨します。
*1 パーフェクトバインダーは対応していません。 *2 PRISMAprepareからサーバーに用紙カタログをエクスポートすることが出来ません。 *3 PSマルチキットは対応していません。
*4 Fiery JDFを使用します。imagePRESS Server オプションのAutomation Packageライセンスが必要です。 *5 多段デッキ・C1は対応していません。

印刷／保存

PDFによる一元管理が可能

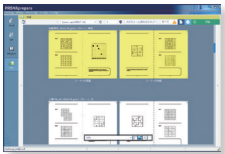
編集したデータは、PDF形式で保存します。Adobe Readerで原稿位置の調整やヘッダー・フッター追加などの編集結果を確認可能。また、印刷体裁等の設定情報(ジョブチケット)はPDF内に保存されるため、再印刷するときはPRISMAprepare上でPDFを開いて印刷するだけで再設定の手間無く出力できます。

プロダクションワークスペースで確認と出力指示を効率化

印刷関連のメニューをまとめたプロダクションワークスペースを新たに追加。今まで別だった印刷設定とプレビュー確認が一緒になり、より早く出力指示が出来るようになりました。



印刷レイアウトの設定



印刷プレビュー画面

カラー・モノクロ混在文書を効率的に印刷

文書中のカラーページだけをimagePRESS Vシリーズに振り分けて出力可能。出力されたカラーページをvarioPRINT 6330シリーズの給紙デッキにセットし、印刷メニュー上で「結合」を選択して印刷すると、カラーページを自動的に丁合しながらモノクロページを印刷します。imagePRESSとの連携により、カラー混在の文書でもvarioPRINT 6330シリーズの高い生産性を活用できます。

